

Weekly コラム

令和5年2月7日

〒541-0055 大阪市中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

次世代インターネット

今、注目されている次世代の技術として“WEB3.0”というインターネット技術があります。分散型のネットワークの皮切りとされており、注目を浴びている技術となります。

日本でインターネットが使えるようになったのは1984年からで当時は東京大学・東京工業大学・慶應義塾大学の三つの大学間での学術関係での使用に限られたインターネットからスタートしました。日本で一般的にインターネットが使えるようになったのは1995年に遡ります。Windows95やMacOSなどにつなぐISP(インターネットサービスプロバイダ)が登場し、普及していきました。1996年からYahooやGoogleなどの多くのインターネットサービスが開始されます。

1990年代当時のインターネット技術はWEB1.0と呼ばれており、情報発信者はごく一部の管理者で、一般ユーザーは情報を受け取るだけで、自由に発信したりする事はできず、サイトもテキストが中心でした。2000年代から現在まではWEB2.0と呼ばれており、企業を中心となり管理・運営されたサイトでの双方向のコミュニケーションが可能で、テキストだけでなく画像や映像などが中心となり、SNSの普及によってインターネットは“見る”だけでなく“発信”、“交流”するものへと変わっていきます。

遠くない将来、“WEB3.0”の時代がくるとされていますが、“WEB3.0”とは、現在ではGoogleやInstagram、YouTubeなどのプラットフォームを通して調べものや動画コンテンツを視聴す

るなど企業を中心となっている現在のインターネット環境と違い、ブロックチェーン技術の活用により個人のデータ管理やコンテンツの提供、デジタルデータの販売や送金などが可能となるようです。

現在はクライアント・サーバー方式と呼ばれ、そのサーバーを経由し通信していますが、WEB3.0ではPSP方式となりサーバーを経由せずに端末での通信が可能となります。通信の安定性と他者へのハッキングなどによるデータ流出などの危険性が少なくなると期待されています。

WEB3.0の技術の活用として、メタバースやNFT(非代替性トークン)、ソーシャルトークン(デジタル通貨)、DeFi(分散型金融)など活用されている技術が出てきております。

まだまだ課題・問題点は多くありますが今後のインターネットの進歩にも期待したいですね。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。